

1 目的

いしかわ保育・教育アドバイザー（以下、「アドバイザー」という。）が、認定こども園・保育所・幼稚園等（以下、「園」という。）を訪問し、訪問先の園の保育・教育について語り合うことにより、乳幼児期の子どもの保育・教育の質の向上を図る。

2 いしかわ保育・教育アドバイザー

- いしかわ保育・教育アドバイザーは、いしかわ保育・教育アドバイザー養成研修を修了した者とする。
- 任期は、就任した日から起算して5年とする。ただし、やむを得ない理由により本人から辞退の申し出があった場合は、この限りではない。

3 アドバイザーの役割・心得

- 県内の園を訪問し、子どもの姿を起点に多様な視点で語り合う。また、訪問先の園の保育者が、子どもを視点とした課題意識を感じるように促す。
- 基本的には指導・助言をするものではないが、必要に応じて、子ども目線に立った助言を行う。ただし、保育・教育の良し悪しの判断、比較、上からの意見、相手への押し付けをしないように心がける。

4 派遣対象 県内全ての幼児教育・保育施設

5 派遣期間 令和7年6月～令和8年3月

6 派遣日程

祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時の間において、希望の日時で調整する。

7 派遣回数

1施設につき、年間1回まで石川県が経費を負担し派遣する。（2回目以降の派遣を希望する場合は、園の費用負担とする。）

8 実施方法

- 園からの派遣要請に基づき、アドバイザーを派遣。派遣するにあたり、アドバイザーと派遣を希望する園は、「HoiQ（ホイキュー）」を活用し、子どもの姿を起点に多様な視点で語り合う。また、アドバイザーは必要に応じて、子どもの目線に立った助言を行う。

HoiQ（ホイキュー）とは、東京大学 Cedep が開発した園内研修ツール。「子どもにとって」という視点から保育について考えていく際の視点が多く集められている。

- 派遣希望日の1か月前までに派遣依頼書（様式1）を作成の上、石川県（少子化対策監室 幼児教育・保育人材グループ）に提出する。
- 派遣園から1名、県から1名アドバイザーをリストから選定し、原則2名でチームを組み派遣する。
- 派遣の日時について、派遣園とアドバイザーチームで調整を行う。
- アドバイザーは、訪問日時や当日の流れ等について事前に園と打合せをする。
- 派遣終了後、アドバイザーと派遣園はそれぞれ、2週間以内に実施報告書（様式2）を作成し石川県へ提出する。

9 その他

- 派遣園については、事業の研究・調査に協力すること。
- 本事業を通して知り得た内容は、県は原則として公表しない。ただし、乳幼児期の保育・教育の質の向上で役立つ情報は、個人を特定できるような内容を除いて、該当園の承諾を得た上で、公表・周知する。